

| 項目 | 内容 |
|-------|--|
| 開催日時 | 前日訓練:令和6年11月8日(金)14時00分～17時00分 当日訓練:令和6年11月9日(土) 8時30分～16時30分 |
| 訓練想定 | <ul style="list-style-type: none"> ・11月8日14時に「上町断層帯地震(A型)」が発生 ・1日目、2日目ともに実時程で実施 |
| 訓練会場 | 大阪府庁、府内全災害拠点病院18か所、一般病院14か所 ※その他関係機関において自施設等で訓練実施 |
| 訓練参加者 | <p>府職員:①健康医療部長・医療対策課長 ②府保健医療調整本部員39名 ③健康医療総務課(保健所G)5名 ④医療対策課4名 ⑤業務課9名 ⑥健康づくり課5名 ⑦地域保健課12名(母子G:3名、精神保健G:3名、疾病対策・援護G:6名(透析2・難病4)) ※「②府保健医療調整本部員」での参加の場合、③～⑦には計上しない。 ※コントローラーや運営関係者は含まない。</p> <p>DMAT隊員:666名(他府県のDMAT319名、大阪府内のDMAT347名)</p> <p>行政機関:厚生労働省DMAT事務局、関西広域連合、大阪府、大阪市、堺市、保健所、消防機関 医療機関:府内災害拠点病院(18か所)、府内病院(14か所) 関係機関:大阪府医師会、大阪府歯科医師会、大阪府薬剤師会、大阪府看護協会、大阪府栄養士会、 大阪府臨床工学技士会、日本赤十字社大阪府支部、大阪府医薬品卸協同組合、 大阪府大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会、国立研究開発法人防災科学技術研究所、 2025年日本国際博覧会協会、学校法人ヒラタ学園 等</p> |

着眼事項・訓練項目

1.保健医療調整本部における多機関連携

- ・急性期からの災害時健康危機管理支援チームとの連携(福祉部門との連携)
- ・DHCoSに基づいた支援体制確立に向けての連携
- ・行政、各コーディネーター、その他の機関との情報共有と共通認識の醸成
- ・万博開催時の災害医療連絡体制の構築

2.DMAT活動拠点本部と管轄医療圏内の情報共有

- ・災害拠点病院の拠点化

3.病院避難→医療搬送拠点を設置

- ・医療搬送拠点設置の判断
- ・搬送手段の確保と調整(搬送調整班、ドクヘリ調整本部、現場の役割分担)

4.消防機関との連携訓練

- ・各活動拠点本部にリエゾンの配置

5.ライフライン、物資支援

- ・ISUTとの連携によるニーズの把握と活動方針の決定
- ・ロジスティクス支援、ライフライン支援

近畿地方DMATブロック訓練の概要

訓練概要

大阪府

危機管理室 健康医療部 福祉部

- 保健医療調整本部の設置・運営
- 専門分野との連携
(小児周産期・透析・難病・薬務・精神等)
- 水道災害調整本部との連携
- 危機管理室・福祉部との連携
(大阪府保健医療調整本部)



災害拠点病院(全18病院)

- 指揮支援訓練
- 多数傷病者の受入訓練
(活動拠点本部)



(多数傷病者の受入)



一般病院(14病院)

- 指揮支援訓練
- 病院避難、籠城支援、搬送支援等

| 圏域 | 病院名 |
|--------|----------------|
| 豊能・三島 | 市立豊中病院(豊中市) |
| | 藍野病院(茨木市) |
| 北・中河内 | 寝屋川生野病院(寝屋川市) |
| | 星ヶ丘医療センター(枚方市) |
| 大阪市 | 明生病院 |
| | 福島病院 |
| | 日本橋病院 |
| | 生野中央病院 |
| | 大野記念病院 |
| | 済生会泉尾病院 |
| | 南港病院 |
| 堺市・南河内 | 山本第三病院 |
| | 大仙病院(堺市) |
| | 滝谷病院(河内長野市) |

ドクターヘリ(5機)

- ・ドクターヘリ本部の運営
- ・患者搬送訓練(実機フライト)



大阪府ヘリ
和歌山県ヘリ
奈良県ヘリ
京都府ヘリ
兵庫県ヘリ

各府県DMAT

被災地の病院支援
(55チームが各所に派遣)

保健所

- 保健所保健医療調整本部の設置
- 災害拠点病院等との連携
- 保健所の被災状況の把握
- ODHEATの派遣要請 等

消防機関

活動拠点本部へのリエゾン派遣 など

万博

日本国際博覧会協会との情報伝達訓練 など

専門分野

(小児周産期・精神・難病・透析等)

- ODPAT調整・活動拠点本部運営、病院支援
- 小児周産期・精神・難病・透析患者の搬送調整訓練
- 小児科・産婦人科病院の情報集約
- 難病患者の安否確認(ANPiS)
- 感染症指定医療機関の被災状況把握
- 歯科医師会**・栄養士会との連携
- 日本赤十字社・府医師会・JRATとの連携

薬務・血液

- 医薬品の調達・輸送
- 血液製剤の調達・輸送

災害支援ナース

- 応援派遣に関する情報伝達

水道

- 各水道事業者の被災状況把握
- 災害拠点病院への給水支援

ライフライン

- 高速衛星通信環境の確保
- 災害拠点病院への燃料補給

福祉関連

- 福祉施設の被災状況の共有
- DWATとの連携

近畿地方DMATブロック訓練の振り返り(歯科)

訓練概要

[訓練参加者]

プレイヤー:健康づくり課3名(災害歯科コーディネーター含む)、大阪府歯科医師会
コントローラー:健康づくり課1名

[訓練目標]

- 発災72時間後の災害時歯科保健医療提供体制に関する情報収集に必要な連絡調整を行う。
- フェーズ4(発災後72時間～1週間)での歯科医療班の調整に向けた連絡調整を行う。

[訓練内容]

- 防災無線の通信訓練を大阪府歯科医師会とリアルで行い、滞りなく行えた。
- イベントカードによる事案対応【次ページ参照】

[今後に向けて]

- ・イベントカードの内容についてはおおむね対応策を打ち出せたものの、薬剤準備等については健康づくり班のみで解決できる問題ではないため、薬務課と調整を行い、今後の対策を検討する必要性を感じた。
- ・また、訓練会場は実災害時に活動する場所とはなっておらず、活動場所確保の必要性を感じた。



近畿地方DMATブロック訓練の振り返り(歯科)

訓練時程

| 時刻 | 発 | 受 | 内容 |
|-------|-----------------|---------------------|--|
| 8:30 | 健康づくり課 | 大阪府歯科医師会 | 災害歯科Coの招聘依頼(リアル) 防災無線を介して、府歯会へ連絡 |
| 9:05 | | | 災害歯科Co(中島理事) 参集 ※新別館1F 訓練会場へ |
| 9:10 | 災害歯科Co | 大阪府歯科医師会 | 防災無線を介した情報伝達訓練 (到着報告、大阪府内の歯科医院の状況報告等確認) |
| 9:15 | 大阪市保健医療調整本部(仮称) | 大阪府保健医療調整本部(災害歯科Co) | イベントNo.1 |
| 9:30 | 大阪府歯科医師会 | 大阪府保健医療調整本部(災害歯科Co) | イベントNo.2 |
| 9:45 | 大阪市保健医療調整本部(仮称) | 大阪府保健医療調整本部(災害歯科Co) | イベントNo.3 |
| 10:00 | 大阪府歯科医師会 | 大阪府保健医療調整本部(災害歯科Co) | イベントNo.4 |
| 10:15 | | 大阪府保健医療調整本部 | 午後の会議に向け、関係機関資料(歯科分)作成 イベントNo.0 |
| 10:30 | 大阪府歯科医師会 | 大阪府保健医療調整本部(災害歯科Co) | イベントNo.5 |
| 10:45 | 大阪府歯科医師会 | 大阪府保健医療調整本部(災害歯科Co) | イベントNo.6 |
| 11:00 | 藤井寺保健所 | 大阪府保健医療調整本部(災害歯科Co) | イベントNo.7 中島理事、訓練終了・解散 |
| 11:15 | | | 訓練資料作成 |
| 12:00 | | | 全体訓練終了 |

《イベント詳細》

No1:保健医療調整本部会議用資料作成

- ・災害歯科Coより府歯会に連絡し、必要な情報を確認した。

No2:避難所での歯科ニーズ対応

- ・一旦、府歯会でJDAT派遣対応
- ・府内で完結できなければ(府歯会一府)⇒厚労⇒日歯⇒都道府県歯で派遣依頼

No3:JDATの薬剤調達

- ・薬剤班(薬務課)へ調達依頼

No4:老健施設への歯科医師派遣

- ・府歯会⇒当該地区へ派遣依頼
- ・非入会員でも依頼が可能であることを確認。

No5:他府県のJDAT派遣先調整

- ・一旦、府歯会の災对本部に寄っていただき派遣先を選定することとなる(府庁の本部に来ることは考えにくい)。

No6:被災診療所の対応

- ・府歯会事務局で対応(災害医療Coの業務外)
- ・JDATは診療所支援はしない。平時より会員間の助け合い制度がある。

No7:連絡のつかない会員の安否(道路啓開未地区)

- ・自衛隊や警察に依頼する。医療チームでの調査は厳しそう。
- ・地区内で班分けしており、見回れるならそちらで対応。

No8:後送病院の選定

- ・輪番制で決まっている。本日なら松原市徳洲会病院が担当。
- ・搬送手段としては自衛隊やDMATに依頼する。